

豊能地域(市町)の防災・減災に係る取り組み紹介

令和元年度の主な防災・減災に関する取り組み ～豊中市～

1. 「とよなか防災アドバイザー派遣制度」を新たに実施

【概要】

地域における防災対策の実践活動を促進し、市民の防災力の向上を図るため、防災対策に関する講義又は助言を行う者を「とよなか防災アドバイザー」として地域に派遣する。

【対象】

(1) 対象となる研修会等

防災意識の高揚等を図ることを目的とする研修会等

(2) 主催者

校区自主防災組織、自治会、管理組合、PTA等

(3) 研修会等の規模

概ね25名以上

【防災アドバイザー】

気象防災アドバイザー、気象予報士、防災士、気象庁OB等計4名

【令和元年度実績】

4回アドバイザー派遣を行い、計211名が受講。

2. 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の策定

【概要】

平成21年度に策定した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」について、近年の局地的な大雨や台風の大型化などに伴い、災害リスクが高まっていることから、これまでの避難勧告等に関する防災対策を見直し、災害時に迅速かつ円滑な対応が図れるよう、豊中市の地域特性を考慮し、実情に応じた避難勧告等の判断・伝達マニュアルを策定した。

【業務の範囲】

下記河川及び市内の土砂災害特別警戒区域等及び津波を対象

猪名川・淀川・神崎川・千里川・天竺川・兔川・高川・箕面川・旧猪名川

令和元年度の主な防災・減災に関する取り組み ～池田市～

□防災備蓄倉庫等を整備

◆経緯

防災備蓄物資の保管・管理及び救援物資受入の円滑化を図るため、本市の拠点となる防災備蓄倉庫を旧細河小学校に整備するとともに、避難所である屋内運動場のトイレを改修するもの。

◆内容

主な工事内容

- ・ 既存施設解体 : 旧細河小学校の校舎（一部を除く）の解体
- ・ 防災備蓄倉庫建築 : 1階：備蓄倉庫（約500㎡）2階：事務所・会議室・トイレ（約200㎡）
- ・ トイレ改修 : 旧細河小学校屋内運動場（指定避難所）にあるトイレを改修
- ・ 完成 : 令和2年3月31日

◆効果

旧細河小学校の敷地は国道423号に面しており、また国道173号との分岐に近く、阪神高速池田線の木部出口の側にあり、さらには新名神高速道路の箕面インターチェンジからも5.5キロとなっているなど交通アクセスが優れています。

既存のグラウンドを活用することでトラックの待機場所を確保でき、スムーズな受援と荷捌きが期待できる。



令和元年度の主な防災・減災に関する取り組み ～箕面市～

1 高性能型防災スピーカーの更新整備

平成30年に発生した、大阪北部地震、西日本豪雨、台風第21号などの災害対応を振り返り、市民に対する防災情報の伝達強化を図るため、既存の防災スピーカーを高性能型防災スピーカーに更新整備を進めています。（令和2年度も継続中）

2 市職員及び地区防災委員会役員の防災士資格取得

市職員と地域で災害対応に当たる地区防災委員会役員の、防災に対する意識や知識のスキルアップを図るため、市が防災士養成講座を開催し、結果として200名の防災士の登録を行いました。

（実施年月日）

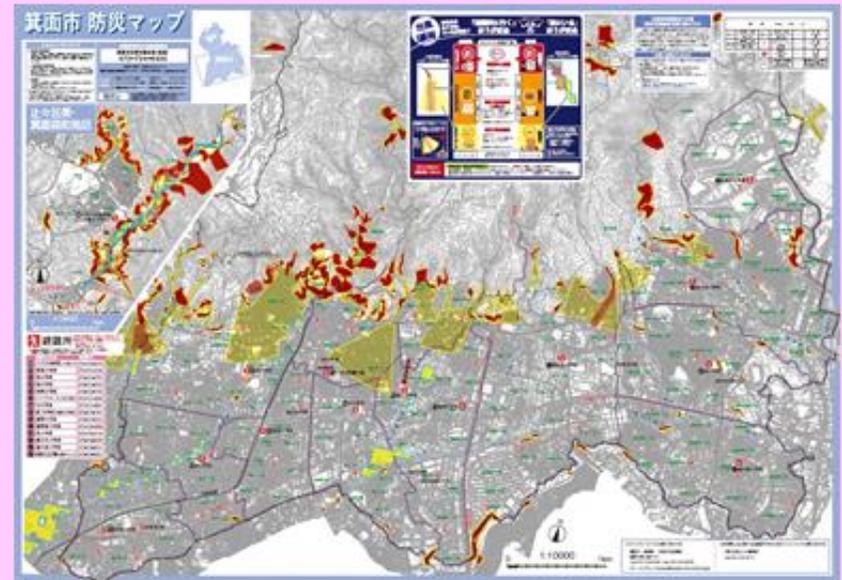
令和元年11月25日（月曜日）及び26日（火曜日）の2日間

（講座会場）

箕面市消防本部

3 新しい防災マップを全世帯に配布

レッドゾーンやイエローゾーンの日頃からの把握や避難方法などの周知を図るため、令和元年5月号の広報紙と同配で、新しい防災マップを全世帯に配布しました。



令和元年度の主な防災・減災に関する取り組み ～豊能町～

◆川尻地区でコミュニティタイムライン作成、避難訓練実施

○概要

川尻地区は、町内屈指の防災に対する意識の高い地区で、例年自主防災会が中心となって避難訓練を実施している。令和元年度においては、コミュニティタイムラインを作成し、以下の避難訓練を実施した。

○実施日時

令和元年11月17日（日）14:00～16:15

○場所

川尻地区内及び川尻自治会集会場

○参加者

- ・川尻地区自治会住民約50名
- ・豊能町役場総務課2名
- ・大阪府池田土木事務所3名

○訓練概要

・避難行動訓練

①レベル3（大雨警報（土砂災害）発令）

自治会長から各町内会長へ「警報発令（レベル3）」の伝達（電話）

②レベル4（避難勧告発令）

自主防（自治会）から各戸へ避難勧告発令の伝達、家族の安否確認及び避難の推奨、避難状況の確認、一時避難所（集会場）の開放、自力避難困難者を避難所（中央公民館）へ送迎

③レベル4（避難指示発令）

自主防（自治会）から各戸へ避難指示発令の伝達、家族の安否確認及び避難の推奨、全住民の避難状況を確認、自力避難困難者を避難所（中央公民館）へ送迎

④レベル5（大雨特別警報発令）

未避難者に対し「命を守る最善の行動」をとるよう伝達、自主防・消防団退避

- ・池田土木事務所及び豊能町総務課の訓練所見を発表
- ・防災資機材の点検

○訓練効果

- ・行政等及び自治会との連携や住民の防災意識の高揚を図ることができた。
- ・コミュニティタイムラインを作成、検証することができた。

令和元年度の主な防災・減災に関する取り組み ～能勢町～

①大阪府・豊能地域3市2町合同防災訓練 実施

令和元年11月15日（金）、震度6強の直下型地震により被害が発生したことを想定して、避難誘導・トリアージ・水道給水など各種訓練を行った。

関係機関、関係団体と連携を図るとともに、小学生にも訓練に参加していただいた。



②自主防災組織設置促進及び支援

地域の防災は、地域で担っていただく自主防災組織立上げを促進し、令和元年度は5地区が立上げを希望され、令和2年度までに11地区で自治防災組織が立ち上がった。

自治防災組織には、資機材購入費の助成を行っている。

③一時避難所設置促進

災害時に地域の公民館・集会所を一時避難所として開設していただけるよう、必要な非常食等を地域に配布。